

成果報告書

(地域部活動推進事業)

淡路市立北淡中学校

所在地	兵庫県淡路市
運営主体	兵庫県教育委員会 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1 (再委託先)淡路市教育委員会 〒656-2292 兵庫県淡路市生穂新島8番地
事業目標	子どもたちの継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保するとともに、学校における働き方改革を推進できるよう、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、体制の構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うため、指導や大会の引率を行う地域人材の確保、移動手段の確保、平日の学校部活動との連携・協力体制の構築、コーディネート、それらにかかる費用負担のあり方等の課題解決を目指す事業実施体制について研究する。
団体・組織等の連携	<p>The diagram illustrates the organizational structure and relationships for the project. At the top is the Cultural Bureau (文化庁), which commissions the Hyogo Prefectural Education Commission (兵庫県教育委員会). The Education Commission sets up the Prefectural Specialist Meeting for Local Activity Promotion (地域部活動推進事業 専門家会議(県)) and commissions the Local Activity Promotion Committee (淡路市地域部活動推進委員会 (淡路市)). The Local Committee provides reference and guidance to the prefectural meeting and also commissions the R3 Pilot School (淡路市立北淡中学校 (吹奏楽部)). The prefectural meeting provides reference and guidance to the pilot school. The pilot school collaborates with neighboring schools (A, B, C) and the Hyogo Wind Music Alliance (兵庫県吹奏楽連盟 (淡路地区吹奏楽連盟)). The alliance provides reference and guidance to the pilot school. The pilot school also uses ICT for joint practice and surveys.</p>
活動場所	淡路市立北淡中学校 〒656-1742 兵庫県淡路市浅野神田114-1
活動概要	休日の部活動の地域移行を推進するため、拠点校である淡路市立北淡中学校の実践研究を基に、7つの視点(①教員の働き方改革、②地域指導者の確保、③活動場所の確保、④教員(顧問)以外による大会等への引率、⑤教員(顧問)と地域指導者等の連携、⑥地域指導者等への研修の実施、⑦費用負担のあり方等)について検証を行った。また、本年度の成果と課題を中間報告としてまとめ、各市町教育委員会に対して周知する。

〇本事業による成果

視点1 教員の働き方改革(業務改善・意識改革)について

〔淡路市〕

(1) 部活指導に関する業務の削減

- ・拠点校では、平日、休日とも、顧問と地域指導者が一緒に指導を行っているが、一定時間は業務軽減となっている。
- ・指導計画の立案、練習計画の作成、譜面の準備等の一部を地域指導者に任せることにより、練習時間以外に必要な業務量の軽減につながっている。

(2) 心理的な負担の軽減

- ・事前の準備を地域指導者にお願いすることは、業務量の軽減とともに、心理的な負担の軽減につながっている。
- ・楽器指導については、専門性のある地域指導者(クラリネット、打楽器等)もいるため、安心して任すことができる。



視点2 地域指導者の確保

〔淡路市〕

- ・吹奏楽部3名(教員OB2名、地域在住のプロの演奏家1名)の地域指導者の活用
→指導者の確保については、関係者の人間関係を通じた依頼
- ・人材の確保については、淡路市地域人材バンクの活用、淡路吹奏楽連盟との連携

〔地域指導者が指導することによって得られた成果〕

【生徒】(回答数:22名)

「地域指導者に指導してもらうことで、どのような楽しみがありますか。」(生徒アンケートより)



・「個別に関わってもらえる時間が増える」の回答数が、8月調査に比べ増加している。
顧問だけの活動では、十分な指導ができない場面において、地域指導者の指導の効果を実感している。

※地域指導者を確保することは大切であるが、地域の中で指導者を育成していくことも大切である。

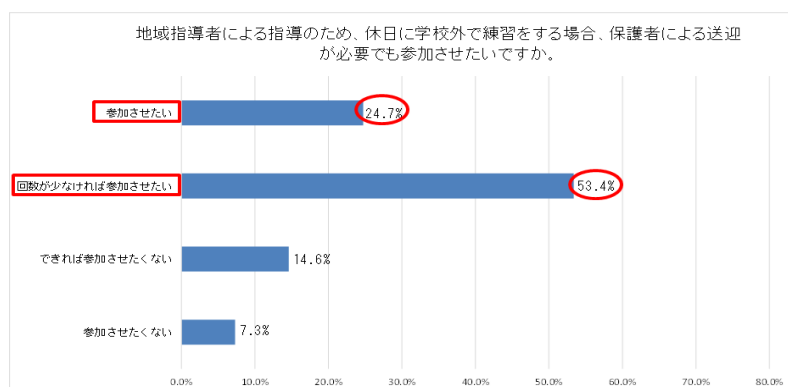
視点3 活動場所の確保

- ・地域性があり、地元にはホールや公民館等があるところとないところがある。また、移動する場合は、楽器の移動の問題が非常に大きい。→学校開放が取り組みやすい。
 - ・学校を開放する場合は、休日の鍵の管理は顧問が担当し、練習は地域指導者が担当。〔淡路市〕
 - ・代行員が、鍵の受け渡し等を管理している学校もある。〔川西市〕
- ※代行員・・・土日のどちらかに出勤し、鍵を管理し、来校者対応等に従事する人

視点4 教員(顧問)以外による大会等への引率

吹奏楽部の保護者アンケート調査

(対象:淡路市、川西市、明石市、豊岡市の吹奏楽部の保護者 183名)



・「地域指導者による指導のため、休日に学校外で練習をする場合、保護者による送迎が必要でも参加させたいですか」の質問に対し、「参加させたい」「回数が少なければ参加させたい」と回答した割合が約8割となっている。
・「できれば参加させたくない」「参加させたくない」と回答した割合も約2割あるため、配慮が必要である。

視点5 教員(顧問)と地域指導者等の連携

〔淡路市〕

- ・地域指導者との連携では、連絡シートを作成している。
(＜内容＞・出席状況 ・活動状況 ・生徒指導に関わる情報等)
- ・紙ファイルによる活用を主としているが、ICTの活用も可能である。
- ・地域指導者が、平日も顧問と一緒に指導に関わる時間があるため、連携はスムーズに行えている。

視点6 地域指導者等への研修の実施

(1) 指導者の育成に向けた取組

- ・吹奏楽連盟との連携により、専門家の指導による合同練習会を開催。〔明石市〕
→指導経験の少ない指導者にとっては、指導方法を学ぶ貴重な機会となっている。

- ・地域指導者が自ら地域バンドを立ち上げ、地域の受け皿となるよう取り組んでいる。〔淡路市〕
 - 地域バンドの活動をしながら、バンドの仲間に指導者としてのノウハウを伝え、協力を依頼する。
 - 地域バンドの練習に参加した生徒が、将来的には地域の指導者として活躍することを期待する。（地域の中で人材を育む）

(2) 指導の充実にに向けた取組〔淡路市〕

- ・各校で研修に活用できる「淡路市部活動ガイドライン」の研修用動画を作成して、各校に配信。
- ・タブレット端末等を活用することで、個別研修の実施も可能

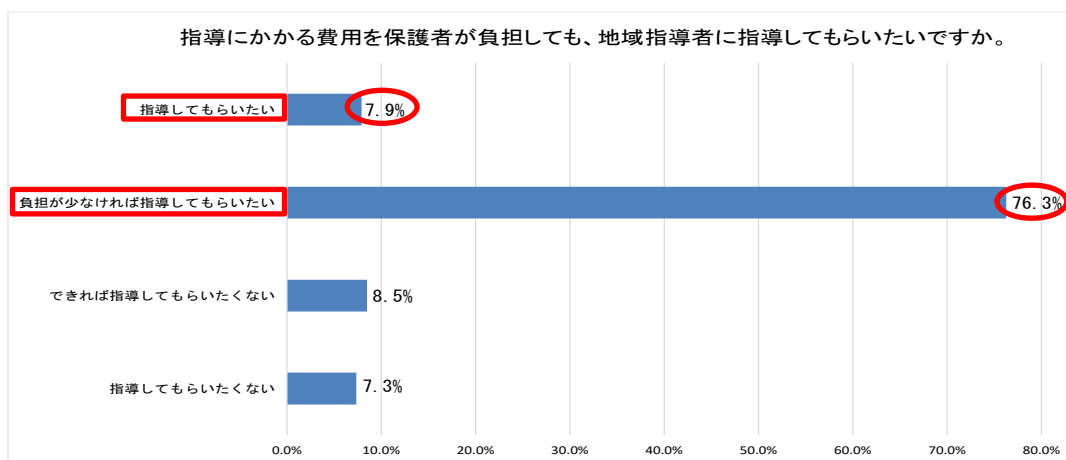


部活動指導者
研修用動画

視点7 費用負担のあり方

吹奏楽部保護者のアンケート調査

(対象: 淡路市、川西市、明石市、豊岡市の吹奏楽部の保護者 183名)



- ・「指導にかかる費用を保護者が負担しても地域指導者に指導してもらいたいですか」の質問に対し、「指導してもらいたい」「負担が少なければ指導してもらいたい」と回答した割合が8割を超えている。
- ・一方、「できれば指導してもらいたくない」「指導してもらいたくない」と回答した保護者もいるので、地域移行を行う場合には丁寧な説明が必要である。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・ICTを活用した効果的な練習方法(複数の学校による合同練習)〔淡路市〕

地域指導者が見つからない場合や指導者の都合により、練習の時間帯が合わない場合などに備えて、試験的にICTを活用した合同練習に取り組んだ。



○運営上の工夫

これまで学校で実施していた部活動をいきなり地域に移行するには、検討すべき課題が山積しているため、本県では専門家会議の中で、前述のとおり、7つの視点に分けて課題を整理し、検証を行ってきた。視点を分けて調査・研究を進めることにより、

①これまでの取組を生かすこと

- ・人材バンクの活用や部活動指導員を有効活用する。
- ・学校施設を開放する場合は代行員や地域ボランティアの方に鍵の管理等を依頼する。等

②吹奏楽部の練習形態を全体指導と部分指導に分けること

- ・全体指導は教員(顧問)が実施し、部分(パート)指導は、地域指導者に依頼する。
- ・部分(パート)指導であれば、1つの楽器の経験があれば指導できるため、人材も確保しやすい。

など、解決の糸口が見えてきたこともある。視点ごとに具体的な取組事例を示すことで、学校や地域の実情に応じて、できることから取組を進めて行くことができる。

○継続的な運営に関する課題

- ①都市部や地方部など地域の実情に応じた幅広い具体例の提示
- ②各市町及び各学校への地域移行に関する周知(研究指定校の成果と課題)
- ③保護者や地域の理解を得るための周知の工夫(受益者負担等も含む)
- ④人材の確保・育成のための人材バンクや指導者ネットワークの構築
- ⑤吹奏楽連盟等との連携を図りつつ、大会(コンクール)参加等への検証
- ⑥国の動向を踏まえた上での予算確保に向けた準備(県及び各市町)



○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題に対応するため、

- ①: 令和4年度の拠点校(加古川市立別府中学校)が比較的、都市部にあるため、淡路市立北淡中学校(地方部)の取組と比較しながら、地域の実情に応じた取組等を研究
- ②③: 本年度の中間報告(成果と課題)を併せて、2年間の実践研究の成果を発信。また、保護者や地域の理解を得るためには、今後、受益者負担も生じることから、専門家会議等でその周知方法について検証
- ④: 市町教育委員会及び学校等に対しては、これまでの人材バンクを活用すること。また、吹奏楽連盟や関係団体と連携を図りながら、育成の視点も含めた地域指導者の確保に向けて取り組むよう指導
- ⑤: 吹奏楽連盟等と連携及び情報共有を図りながら、大会の参加の在り方について検証
- ⑥: 地域移行に向けて必要な予算等を拠点校の実践研究を基に洗い出し、周知等に取り組んで行く。

募集方法	加古川市立別府中学校(吹奏楽部)で実施																	
指導者	教員OB1名																	
移動手段	原則、学校での実施(大会の参加については、保護者の送迎)																	
活動費用	なし																	
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域部活動推進事業 専門家会議(県)</th> <th>「部活動のあり方」 検討委員会(加古川市)</th> <th>加古川市立別府中学校 吹奏楽部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 第1回専門家会議(5月) ・趣旨、取組内容の共通理解 ・課題の洗い出し </td> <td> 第1回推進委員会(6月) ・研究の方向性 ・業務改善に向けて </td> <td> 調査・研究の実施 ・地域指導者の参加 ・活動場所の工夫 ・練習形態の工夫 ・業務改善 ・第1回アンケートの実施 </td> </tr> <tr> <td> 第2回専門家会議(11月) ・淡路市からの中間報告、アンケート結果等 検証 ・意見交流(現状と課題) </td> <td> 第2回推進委員会(10月) ・アンケートの分析 ・調査・研究の検証 ・指導者用研修資料の作成 </td> <td> ・第2回アンケートの実施 </td> </tr> <tr> <td> 第3回専門家会議(2月) ・本年度のまとめ ・中間報告書の作成 ・次年度に向けて </td> <td> 第3回推進委員会(1月) ・地域部活動の取組について ・アンケートについて ・業務改善に向けて </td> <td> ・活動の振り返り </td> </tr> <tr> <td> 市町教育委員会への実践報告(3月) </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域部活動推進事業 専門家会議(県)	「部活動のあり方」 検討委員会(加古川市)	加古川市立別府中学校 吹奏楽部	第1回専門家会議(5月) ・趣旨、取組内容の共通理解 ・課題の洗い出し	第1回推進委員会(6月) ・研究の方向性 ・業務改善に向けて	調査・研究の実施 ・地域指導者の参加 ・活動場所の工夫 ・練習形態の工夫 ・業務改善 ・第1回アンケートの実施	第2回専門家会議(11月) ・淡路市からの中間報告、アンケート結果等 検証 ・意見交流(現状と課題)	第2回推進委員会(10月) ・アンケートの分析 ・調査・研究の検証 ・指導者用研修資料の作成	・第2回アンケートの実施	第3回専門家会議(2月) ・本年度のまとめ ・中間報告書の作成 ・次年度に向けて	第3回推進委員会(1月) ・地域部活動の取組について ・アンケートについて ・業務改善に向けて	・活動の振り返り	市町教育委員会への実践報告(3月)				
地域部活動推進事業 専門家会議(県)	「部活動のあり方」 検討委員会(加古川市)	加古川市立別府中学校 吹奏楽部																
第1回専門家会議(5月) ・趣旨、取組内容の共通理解 ・課題の洗い出し	第1回推進委員会(6月) ・研究の方向性 ・業務改善に向けて	調査・研究の実施 ・地域指導者の参加 ・活動場所の工夫 ・練習形態の工夫 ・業務改善 ・第1回アンケートの実施																
第2回専門家会議(11月) ・淡路市からの中間報告、アンケート結果等 検証 ・意見交流(現状と課題)	第2回推進委員会(10月) ・アンケートの分析 ・調査・研究の検証 ・指導者用研修資料の作成	・第2回アンケートの実施																
第3回専門家会議(2月) ・本年度のまとめ ・中間報告書の作成 ・次年度に向けて	第3回推進委員会(1月) ・地域部活動の取組について ・アンケートについて ・業務改善に向けて	・活動の振り返り																
市町教育委員会への実践報告(3月)																		
保険加入等	地域指導者1名、部員25名																	